行 事 報 告 書(研修)

報告者:藤原泰子

行 事 名	甲山森林公園の植物観察
実施日時	2025 年 5 月 8 日(木曜日)　　10 時 ～ 15 時　天候:晴
場 所	甲山森林公園
テーマ	春から夏への植物の生き様を観察しよう
講師	児玉勝久さん
参加者数	28名
内容 (概要)	観察コース:午前　中央入口→西入口→噴水広場→管理棟 午後　管理棟周囲→みくるま池→みどり橋→管理棟 10:00～朝礼後、「今期の気象の状況・春の樹木の生き様」について座学 11:00～2 班に分かれて甲山森林公園の植物の生き様を観察 ・ハリエンジュの白い花が咲いていた。花は天ぷらにすると美味しいらしい。又アカシアのハチミツとして使われる。エゴノキの花弁の数は 5 枚が多い(4～6 枚で一定していない)。葉を透かして見ると葉脈が見えた。和紙の原料のヒメコウゾの雄花は枝の根本に、雌花は先に咲いていた。 ハリエンジュ　エゴノキ　ヒメコウゾ ・エノキに面白い虫こぶが付いていた。サルトリイバラの巻きひげは 1 対で托葉の変化したものらしい。ヤマグワ等クワ科は分裂葉や不分裂葉など様々な形の葉をつける。 ・ラクウショウの樹木銘板は 25 周年記念行事でお客様に取り付けて頂いた第 1 号のものです。 エノキハトガリタマフシ　サルトリイバラの巻きひげ　ヤマグワ　25 周年記念行事で樹木銘板取付第 1 号 ・春になると根から冬芽に水と養分を届ける「揚水」が起こるが、その為樹皮に亀裂が入ったり、古い表皮が剝がれ落ちる。 ケヤキ　アベマキの亀裂　噴水広場で記念撮影 ・ブナ科など落葉樹は一斉開葉、ヤシャブシなどカバノキ科は順次開葉などその様子を観察しながら、一旦管理棟に戻って昼食。 ・午後は毎月第 3 日曜日の甲山ファミリーでの観察コースを回る。 子供の喜ばれるイタドリの笛、ヤマモモの葉やタンポポの茎で音を鳴らしたりするが、なかなか上手くいかない。練習しておかなければ…。 ・管理棟に戻って、今日の観察会のまとめ、クレパスを使って葉脈転写をしたりして終了しました。 絶好の観察日和で、沢山の植物の春の生き様を観る事が出来、有意義な一日て楽しかった。